

第二学期始業式式辞

令和4年8月26日

※ 第二学期新しい学期初め・・・夏休み何か始まりましたか。

一学期の終わりからコロナの状況がひどくなり、県内でも連日3000名を超えるコロナ陽性者が出ており、日本全国でも第7波の到来と言われています。これから二学期が始まるわけですが、引き続き感染対策を意識しながら、学校生活を送ることをお願いします。濃厚接触者になったり、陽性になったりした場合にはすぐに連絡をお願いします。ただ、大きな事故の報告はありませんでしたので、その点では安心をしています。

さて、始めた時が始まりという話を一学期にしましたが、何か始まりましたか。補習や部活動、地域の行事など新しい気持ちで取り組んだことも多いでしょう。私も人に言うだけでは、何の説得力もないと思い、夏休み中に実行したことがあります。一つは早朝ジョギングです。7月の終わりからお盆に入るまでの二週間程度行いました。朝でも気温が30度近くあり、身体に負担もかかるのでゆっくりと走りました。学校付近からスタートし、法華津湾を左に見ながら玉津小学校あたりまでを往復しました。かつて伊達政宗の息子秀宗が、南予一帯を任せ、宇和島にたどり着く前に法華津峠から眺めたという法華津湾です。6:30が近付くと数名の小学生在ラジオ体操に向かっています。走っている私に元気な挨拶、終わって家にたどり着くなり、ただいまと元気のいい声が響きます。元気な挨拶は、人も元気にします。暑さに負けず、気持ちの良い挨拶ができることで、学校全体が元気になると思います。大きな声が出せない上にマスクもありますが、お互いの挨拶で温かい雰囲気にしてください。

※ 吉田高校出身 道上伯氏について・・・「心技体」を最初に使った方

もう一つは、何か吉田高校に関係することについて知りたいと考えていました。「道上伯」という方を知っていますか。1912年に八幡浜市に生まれ、2002年に亡くなりました。吉田高校出身の柔道家です。今年生誕110年ということで7月24日(日)に、御子息の道上雄峰氏の講演が八幡浜市であり、拝聴させていただきました。一度八幡浜商業学校、現在の八幡浜高校に入学しましたが、アメリカに渡ろうと家を飛び出して連れ戻され、八幡浜商業学校には受け入れてもらわず、再度吉田中学校、現吉田高校に入学したとのこと。その時、柔道部顧問をされていた赤松徳明先生のもとで柔道に励み、一度立命館大学に入学しますが、大日本武徳会武道専門学校通称武専に進みました。その後、フランスやオランダで指導者として活躍されました。一番の功績は、1964年の東京オリンピック無差別級で、道上氏の弟子、オランダのアントン・ヘーシンクが無差別級で日本人を破り、金メダルに輝いたことです。この時の心境を道上氏は死ぬまで話しませんでした。複雑な心境は察することができます。どちらかというフランスでの知名度が高く、道上道場は、現在もフランスで引き継がれています。

心技体という言葉があります。最初に使ったのは、道上氏だと言われています。「精神を修め、知と技を練る」に通じるものがあると考えます。

※ 二学期に向けて

二学期は、体育祭や文化祭などの学校行事や部活動では新人大会などの各種大会もあります。各種コンテストや発表会の予定もあるでしょう。先日、野球部の新人戦、八幡浜戦を見せてもらいました。延長戦でのさよならゲームで、また、元気をもらいました。努力したことが結果につながると自信につながりますね。夏の甲子園で優勝した仙台育英高校の須江航監督の「青春ってすごく密」という言葉が話題になっていますが、失敗を恐れず、打ち込むことができるのが、高校時代です。さあ、二学期の始まりです。吉高生の元気な姿を見せてください。コロナ感染回避のために密は避け、代わりに一日一日の君たちの青春を密にしてください。